



Orbotech Infinitum™ 10/10XT

ロールtoロールダイレクトイメージング装置(DI)



Orbotech Infinitem 10/10XT

Orbotech Infinitem 10/10XTは、フレキシブル基板量産ライン向けの画期的なロールtoロールダイレクトイメージング装置です。

KLAが開発した画期的なDrum Direct Imaging™ (DDI) テクノロジーにより、最適なマテリアルハンドリング、高歩留まり・高スループットでの露光を実現いたします。

製造現場で実証されているLarge Scan Optics™ (LSO) テクノロジーとMultiWave Laser™ (マルチ・ウェーブ・レーザー) テクノロジーにより、繊細なフレキシブル基板でも高品質・高精度な露光を可能にします。

さらにOrbotech Infinitem 10/10XTは一体型のコンパクトかつ革新的な装置で、高い生産性と最適な効率性を提供いたします。



特長

最適なマテリアルハンドリング、優れた歩留まり

- 最適な材料セッティングができる革新的なドラムベース機構
- 材料の変形を防ぐ低テンションコントロール搬送
- 材料に付着したゴミを除去する自動クリーニング機能

高スループット・高生産性

- 回転ドラムでの高速連続露光が可能
- オン・ザ・フライでのターゲット認識で高品質露光を実現
- 短時間でのロール交換により稼働効率を最大化

優れた露光品質

- 深い焦点深度を持ってファインで均一なパターンを連続露光
- 複合波長露光により幅広いレジストやプロセスに対応
- 自動歪み補正機能により歪んだ材料にも高い位置合わせ露光を実現

コンパクト性・優れた操作性

- 省スペースとクリーン度を兼ね備えたワンボックス設計
- 優れた操作性により円滑な操作が可能
- ロール交換を容易にする優れたデザイン



テクノロジー



DDI™ Technology

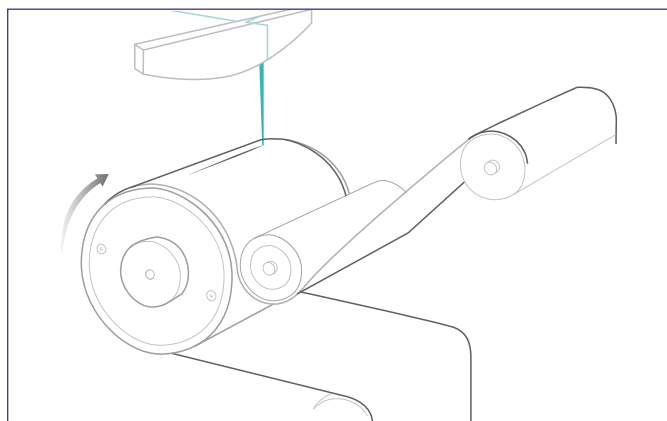


LSO™ Technology



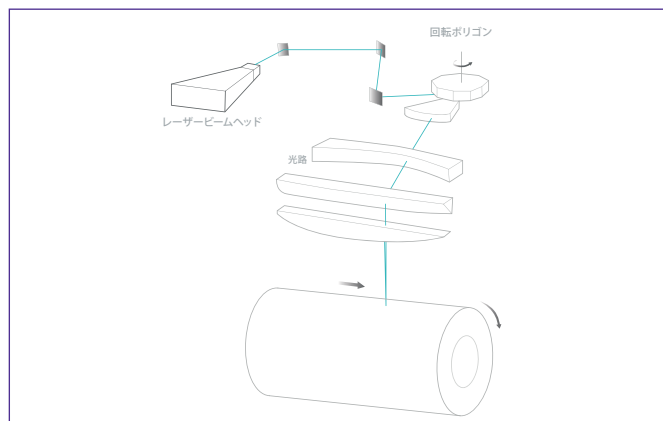
MultiWave Laser™ Technology

高い生産性を実現する回転ドラム式DI ロールtoロール



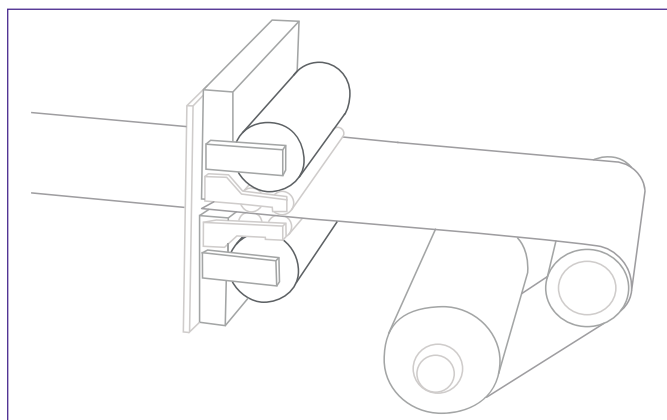
KLAが新たに開発したDDI™ テクノロジーは、連続回転するドラム露光で高スループットと最適なマテリアルハンドリングを実現

優れた露光品質



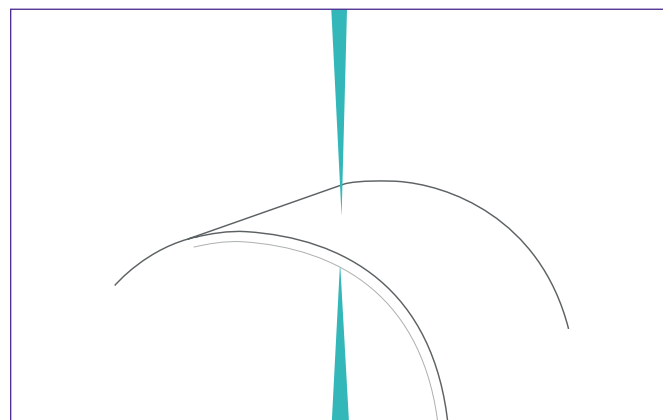
KLAのLSO™テクノロジーで優れたラインパターンを形成

高クリーン度



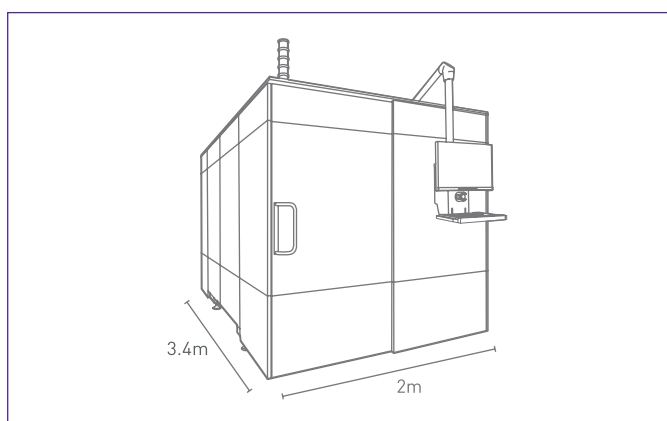
自動クリーニング機能

高いライン均一性



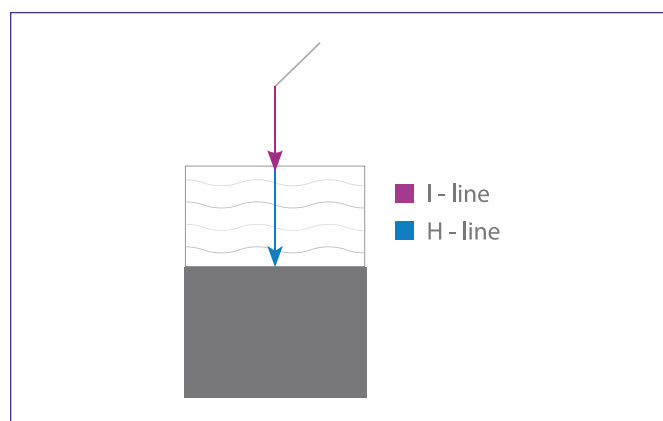
深い焦点深度により正確で均一なパターンを形成

一体型のコンパクトデザイン



一体型かつ省スペースでありながら最大の効率性を実現

幅広いレジストに対応



KLAのMultiWave Laser™ テクノロジーにより、幅広いレジストやプロセスに対応可能

仕様

	Orbotech Infinitem 10	Orbotech Infinitem 10XT
ロール幅	250 - 260mm	250 - 520mm
最大露光幅	260mm	520mm
最小パターンサイズ(L/S)*	10/15μm	
位置合わせ精度 (FtG)	±10μm	
設定露光エネルギー範囲	10 - 1,000mJ/cm ²	
最大ロール重量	50Kg	
最大ロール径	300mm	
対象ワーク	フレキシブル基板向けロールtoロール - 片面、両面、複数レイヤー	
寸法	3.4m x 2.0m x 2.4m	

*フォトレジストの特性により異なります

KLA SUPPORT

高い歩留まりを実現するKLAのソリューションにとって、装置の生産性維持は非常に重要です。この実現のため、当社ではメンテナンス、グローバルでのサプライチェーン管理、コスト削減、老朽化の緩和、装置移設、性能・生産性の向上、認証ツールの再販売などに注力しています。

© 2022 KLA Corporation. KLAは全世界において著作権に関する権利を有します。当社は、ハードウェアおよび/またはソフトウェアの仕様を予告なく変更する権利を有します。「オルボテック」は、KLAカンパニーであるOrbotech Limitedの登録商標です。「KLA」とKLAのロゴは、KLA Corporationの登録商標です。記載されたブランド名および製品名は全て各社の登録商標である可能性があります。

KLA Corporation
TEL: 03-6367-2505
Email: PCB-Sales@orbotech.com
www.kla.com

Rev 5.0_3-31-2022 (J)